

## 保 健 福 祉 委 員 会 記 錄 (N o. 1 2)

1 日 時 令和 7 年 9 月 11 日 (木)

午後 4 時 30 分 開会

午後 4 時 36 分 閉会

2 場 所 第 1 委員会室

3 出席委員 (10人)

委 員 長	金 子 秀 一	副 委 員 長	森 本 由 美
委 員	中 村 義 雄	委 員	西 田 一
委 員	小 松 みさ子	委 員	松 岡 裕一郎
委 員	中 村じゅん子	委 員	伊 藤 淳 一
委 員	柳 井 誠	委 員	小 宮 良 彦

4 欠席委員 (0人)

5 出席説明員

保健福祉局長	武 藤 朋 美	総合保健福祉センター担当理事	古 賀 佐代子
総務部長	正 代 憲 幸	健康医療部長	小 野 祐 一
健康危機管理課長	重 岡 直 之		外 関係職員

6 事務局職員

委員会担当係長 廣 門 実知江 書 記 岩瀬 美 咲

7 付議事件及び会議結果

番号	付 議 事 件	会 議 結 果
1	審査日程について	11日は議案の審査、12日は議案の採決を行うことを決定した。
2	議案第134号 令和7年度北九州市一般会計補正予算（第2号）のうち所管分	議案の審査を行った。

## 8 会議の経過

○委員長（金子秀一君） それでは、開会いたします。

本日は、本委員会に付託された議案4件のうち、先行審議する必要がある議案第134号のうち所管分の審査を行います。審査日程については、本日は議案の審査を行い、明日は議案の採決を行います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

御異議なしと認め、そのように決定しました。

ただいまから議案の審査を行います。

議案第134号のうち所管分を議題とします。当局の説明は、できるだけ要点を簡潔、明瞭にお願いします。なお、議案の説明は着席のまま受けます。

それでは、説明を求めます。総務部長。

○総務部長 それでは着座のまま失礼いたします。

議案第134号、令和7年度北九州市補正予算につきまして御説明いたします。

お手元のタブレットに配付しております、令和7年度9月議会、保健福祉委員会資料の2ページを御覧ください。

国が定めました定期接種開始時期であります、令和7年10月1日から新型コロナワクチン接種を開始するため、先行議決の審査をお願いするものでございます。

まず、歳出予算の減額補正です。

3款3項2目感染症対策費のうち、定期予防接種事業経費の補正額はマイナス3億3,600万円でございます。

3ページを御覧ください。

中ほどに記載しておりますとおり、当初は令和6年度と同様に、新型コロナワクチン接種に係る国の助成金があることを想定しまして、65歳以上で新型コロナワクチン接種を希望する市民の自己負担額を昨年と同額の3,260円としておりました。

これによりまして、接種費用1万5,600円から、自己負担額を除いた額1万2,340円が公費負担となるため、13.4億円の新型コロナワクチン接種に関する事業費を計上しておりました。

今年度より、国の助成金が交付されないこと等もありましたので、従来の基準では自己負担額がワクチン代相当額の1万700円となります、急激な自己負担増を軽減する経過措置として、本市に交付されました物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の一部を活用いたしまして、自己負担額を接種費用の半額程度でございます7,800円とするものでございます。

2ページにお戻りください。

続きまして歳入補正でございますが、先ほども御説明したとおり、新型コロナワクチン接種に係る国の助成金が交付されないことに伴いまして、公衆衛生費雑入がマイナス8億5,490万円となる一方で、本市に交付された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の3.3億円のうち7,911万円を活用するものでございます。

歳入補正の合計額はマイナスの7億7,578万円となっております。

以上、簡単ではございますが、保健福祉局所管の関係議案について説明をさせていただきました。よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（金子秀一君）これより質疑に入ります。なお、当局の答弁の際は補職名をはっきりと述べ、指名を受けた後、簡潔、明確に答弁願います。

質疑はありませんか。中村義雄委員。

○委員（中村義雄君）65歳以上等の等についてお尋ねします。

多分、60歳から64歳の基礎疾患とかかなと思うんですけど、この等は何を含むのか。

○委員長（金子秀一君）健康危機管理課長。

○健康危機管理課長 今、委員御指摘のとおり、等というのは60歳以上から65歳未満の方で、一定の基礎疾患のある方も対象になっておりますので、そこを等ということで表記しております。以上でございます。

○委員長（金子秀一君）中村義雄委員。

○委員（中村義雄君）それだけですかね。その確認。

○委員長（金子秀一君）健康危機管理課長。

○健康危機管理課長 その部分だけでございます。

○委員長（金子秀一君）よろしいですかね。ほかにございませんか。伊藤委員。

○委員（伊藤淳一君）対象は何人くらいおられるのかというのと、最近のワクチンの接種率といいますかね、分かれば教えてください。

○委員長（金子秀一君）健康危機管理課長。

○健康危機管理課長 接種の対象は65歳以上でいきますと、約28万7,000人が対象となります。

接種率というお尋ねでしたけども、昨年度の接種率につきましては、約15%でした。

なお、この補正予算におきましては、当初予算でもともと上げております約36%、10万3,000人の接種者ということを想定しておりますが、ここについては当初予算より変更はしてございません。以上でございます。

○委員長（金子秀一君）伊藤委員。

○委員（伊藤淳一君）ワクチンの後遺症というのが随分問題になっていますけど、その辺最近の知見で、分かったようなことがあれば情報としてお知らせ願いたいんですけど。

○委員長（金子秀一君）健康危機管理課長。

○健康危機管理課長 ワクチンによる後遺症につきましては、様々なところがございます。これにつきましては、国において継続して研究等がなされておりますけども、今すぐに新しい知見ということで、御説明できる部分は特段ないかなと思います。以上でございます。

○委員長（金子秀一君）伊藤委員。

○委員（伊藤淳一君）はい。ありがとうございます。

○委員長（金子秀一君）ほかにありませんか。よろしいですかね。

ほかになければ、以上で議案の審査を終わります。

明日も本会議散会後に開会いたします。本日は以上で閉会します。

---

保健福祉委員会 委員長 金子秀一 ㊞